



「とくらく×LOD チャレンジ 東急沿線データビジュアライゼーションコンテスト」を開催します！
『とくらく』からの提供データと他のオープンデータを掛け合わせて東急沿線の街の魅力や未来をデザインしよう！
11月22日（土）は「アイデアソン」を開催、参加費無料！

東京急行電鉄株式会社

当社が運営する東急沿線情報サイト『とくらく』では、『Linked Open Data チャレンジ Japan（以下、LOD チャレンジ）（※1）』と協力し、新たに“東急沿線の見える化”コンテンツを募集します。

今回、これまでに『とくらく』で集めたイベント情報や、沿線に関する各種調査データの一部をコンテスト用に公開。それらのデータと皆さまのアイデアにより作られた「データビジュアライゼーション作品（※2）」を募集するコンテストを開催します。入賞作品を『とくらく』の新コンテンツとして掲載します。

また、昨今注目を集めているオープンデータをつないで活用する取り組みを支援する『LOD チャレンジ』と共催で、オープンデータを活用したデータビジュアライゼーションに関するイベントを開催。当日その場で参加者とアイデアを練る「アイデアソン（※3）」をあわせて行います。

コンテスト入賞作品については、『とくらく』への掲載のほか副賞を用意し表彰します。

本コンテストにご参加いただくさまざまな個人・グループの方々に、『とくらく』からの提供データ、『とくらく』からの提供データ同士の組み合わせ、『とくらく』からの提供データと公的統計等データとの組み合わせにより、新たな“関係性”の気づきのある“たのしく”“わかりやすい”コンテンツを作成いただき、それを『とくらく』で公開していくことにより東急沿線の共有財とすることを企図しています。

当社は、このようなコンテンツを沿線にお住いの皆さま、まちづくりやコミュニティ活動をされている皆さまに積極的にご活用いただくことを通じて、様々な方に東急沿線の街への理解をより深めていただきたいと考えております。

コンテスト概要およびアイデアソン概要については別紙の通りです。

※1 「LOD チャレンジ」(<http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2014/index.html>) は幅広い分野におけるオープンなデータづくりとデータを活用した作品および取り組みを表彰する日本初のコンテストです。インターネット上で、多くの人々がオープンにしたデータ(Open Data)を、皆でつなげて(Linkして)大きな価値を生み出していく運動は「Linking Open Data」と呼ばれ、世界中のあらゆる分野で急速に広がっています。

※2 「データビジュアライゼーション」の他に「インフォグラフィック」「インフォメーションデザイン」等、ある情報やデータ、知識を視覚的に表現する手法がさまざまあり、手書き、コンピューティング、相互作用があるか等で様々な用語があります。ここでは「データビジュアライゼーション」を「手法を問わず東急沿線のデータをわかりやすく絵で見せる」という意味で使用しています。

※3 「アイデアソン」とは、アイデア (Idea) とマラソン (Marathon) を組み合わせた造語で、特定のテーマに興味を持つ人が集まり、課題解決につながるアイデアを出し合い、それをまとめていくワークショップ形式のイベントのこと。

以上

【別紙 1】

「とくらく×LOD チャレンジ 東急沿線データビジュアライゼーションコンテスト」概要

とくらくからの提供データ

- ①「東急沿線イベント情報データ」 データ形式：xml
2013年1月～2014年10月末日までのとくらく全掲載イベントデータ
サンプル数：約3,000
- ②「暮らし向きを表す漢字一文字」 データ形式：csv
東急沿線にお住まいの方のアンケート調査結果
2011年10月～2014年10月までのアンケート調査結果、計13回
サンプル数：約4,800
- ③「幸福度データ」 データ形式：csv
東急沿線にお住まいの方のアンケート調査結果
2013年2月、2014年2月の計2回
サンプル数：約6,100
- ④「地域活動データ」 データ形式：csv
東急沿線にお住まいの方のアンケート調査結果
2014年6月の計1回
サンプル数：約6,500
- ⑤「鉄道各駅乗降客数データ（路線別）」 データ形式：csv（zip）
東急電鉄全駅の乗降客数データ
2005年度～2013年度毎（一年度は4月～3月）の全駅一日平均乗降客数データ

※公開方法・期間 とくらくサイト上のコンテストページにて2014年11月6日（木）～2015年1月30日（金）の間ダウンロードリンクを公開

コンテスト応募要項

- 資格
 - ・応募規約に同意いただける方
 - ・コンピュータを利用して画像データを作成可能な方
（ただし、手書き作品をスキャンデータ等（jpg、png、gif形式）での出品も可）
 - ・日本語でのコミュニケーションを円滑にできる方
 - ・個人／グループは問いません
 - ・複数応募可能です
 - ・LODチャレンジ2014他のコンテストに重複応募可能です
- 募集期間 2014年11月6日（木）～2015年1月30日（金）17:00まで
- 募集作品
 - ①静止画部門：jpg、png、gif形式の静止画での表現形式
 - ②動的部門：javascriptなどで開発されたもので、指定のURLよりWebブラウザ上で動作確認が可能なもの（動画も含む）
- 利用必須データ 上記「とくらくからの提供データ」①～⑤のうち最低1つを利用してください
（公的統計等、他の公共オープンデータ等と組み合わせての作成を推奨）
- 応募データ形式
 - ①静止画部門：jpg、png、gif形式のいずれかで横幅970pixel、RGBカラーのもの
 - ②動的部門：自身でデモ環境を用意し動作確認できるURL
- ※とくらく推奨動作環境 <http://www.tokyuensen.com/attention/>
- 提出物
 - ・作品タイトル
 - ・作品の簡略説明文（100字以内）
 - ・作品の詳細説明
 - ・（静止画部門の場合）作品データファイル
 - ・（動的部門の場合）デモを操作可能なURL

- 応募方法

 - ・作品のキャプチャ画像
 - ・とくらくからの提供データ以外で利用したデータの参照元
 - ・作品の権利設定
 - ・同一作品をこれから応募する予定の他のコンテスト名

とくらくサイト上のコンテストページに応募フォームを設置
<http://www.tokyuensen.com/special/contest2014/>

- 審査基準

 - ①アイデア：表現方法、データの組み合わせ方等
 - ②デザイン：描画やレイアウトの美しさや理解しやすさ等
 - ③コンセプト：東急沿線の理解を深める、まちづくりに役立つか等
 - ④（動的部門のみ）機能性：操作のしやすさや理解しやすさ等"

- 審査方法

募集締め切り後、審査員による審査会を非公開で開催いたします
 ※内容に関するお問い合わせは対応いたしかねますので、ご了承ください

- 審査員

庄司 昌彦
 （国際大学グローバルコミュニケーションセンター（GLOCOM）講師・主任研究員、一般社団法人オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン 代表）

上平 崇仁
 （専修大学ネットワーク情報学部教授、グラフィックデザイナー）

東浦 亮典
 （東京急行電鉄株式会社 都市開発事業本部 都市戦略事業部 企画開発部統括部長）

- 表彰

受賞点数：6点

 - ①静止画部門：1位～3位
 - ②動的部門：1位～3位

各1位・・・賞金20万円
 各2位・・・賞金10万円
 各3位・・・賞金5万円"

- 結果発表

とくらくサイト内で発表します（2015年4月予定）

- 主催

東急沿線情報サイトとくらく <*リンク <http://www.tokyuensen.com/>>
- 共催

LOD チャレンジ Japan2014 <*リンク <http://lod.sfc.keio.ac.jp/challenge2014/>>

- お問い合わせ先

東京急行電鉄株式会社 都市開発事業本部 都市戦略事業部 企画開発部
 とくらく運営事務局 TOQraku@selun.ne.jp

以上

【別紙2】

「とくらく×LOD チャレンジ 東急沿線データビジュアライゼーションアイデアソン」概要

- 参加費 無料
- 日時 2014年11月22日(土) 13:00~18:00(開場 12:30)
- 会場 カタリスト BA <http://catalyst-ba.com/access.html>
東京都世田谷区玉川 2-21-1 二子玉川ライズ・オフィス 8F
- 内容
- ・東急沿線情報サイト『とくらく』およびコンテストについての説明
 - ・オープンデータに関するレクチャー
 - ・インフォグラフィックスに関するレクチャー
 - ・アイデアソンと成果共有
- ゲスト 庄司昌彦氏
国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM) 講師/主任研究員。一般社団法人オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン (OKFJ) 代表理事、一般社団法人インターネットユーザー協会 (MIAU) 理事おもな関心テーマは情報社会学、電子行政・オープンガバメント、地域情報化、社会イノベーションなど。
- 上平崇仁氏
専修大学ネットワーク情報学部教授。人間中心設計推進機構評議員、同認定専門家。主な活動分野は、情報デザイン、ユーザエクスペリエンスデザイン、デザイン思考など。近年は、社会におけるコミュニケーションの道具としてのインフォグラフィックス / ビジュアルシンキングの活用や、参加型デザインの仕組みづくりについて取り組んでいる。
- 申込方法 web サイトから申込 <http://peatix.com/event/59430>
- 主催 東急沿線情報サイトとくらく
- 共催 LOD チャレンジ Japan2014
- お問い合わせ先 東京急行電鉄株式会社 都市開発事業本部 都市戦略事業部 企画開発部
とくらく運営事務局 TOQraku@selun.ne.jp

以上